

北原山雨水排水整備事業

[484]

事業の位置づけ

公共下水道事業会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	35-0101	実施計画
施策	05	雨水対策・河川整備の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	排水施設の整備・維持管理	担当	都市整備部 都市整備課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	北原山土地区画整理事業区域の住民をはじめ、対象排水区内の住民	北原山土地区画整理事業に合わせ雨水排水施設の整備を行なう。 (整備の対象となる雨水排水施設の口径) 鳴湫排水区... 800以上 東大道排水区... 600以上 三葉川排水区... 700以上
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	平成17年6月 北原山土地区画整理組合の仮換地指定(区画整理事業の着手) 平成17年度 鳴湫雨水幹線における実施設計委託業務の実施 平成18年度 鳴湫雨水幹線整備工事の着手 平成21年度 鳴湫雨水幹線以外の雨水排水施設における実施設計委託業務の実施 平成22年度 鳴湫雨水幹線以外の北原山地区内雨水管渠布設工事の着手 予算措置については下水道課にて計上する。
	北原山土地区画整理事業の進捗に合わせ、計画どおりに雨水排水施設が整備され、浸水被害等がおこりにくくなっている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	雨水排水施設の整備延長(m)	m	469	66	200	206
	雨水幹線の整備延長(m)	m	86	21	99	0
成果指標	北原山地区内の雨水排水施設整備率(%)	%	66	68	73	72
	北原山地区内の雨水排水施設整備済延長(のべ延長)(m)	m	3,136	3,223	3,403	3,429
事業費 計			155,670	19,958	140,000	23,693
財源内訳		ア 国	63,651		51,500	10,320
		イ 県				
		ウ 地方債	83,700	16,000	59,200	12,000
		エ その他	8,319	3,958		
		オ 一般			29,300	1,373

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が大きい</p>	北原山区画整理事業に合わせて雨水排水整備を進めているが、鳴湫雨水幹線の一部未整備となっていることは解消できていない。
--------	--	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	北原山地区における浸水対策を推進するため、鳴湫雨水幹線及び地区内雨水管渠の整備を進めます。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
北原山土地区画整理事業に合わせて雨水排水整備を行っている。			

浸水対策事業

[1072]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	35-0102	実施計画
施策	05	雨水対策・河川整備の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	排水施設の整備・維持管理	担当	都市整備部 土木管理課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	大雨時に浸水の恐れのある地区 大雨時に浸水の不安を感じる住民	大雨時に道路が冠水し、浸水の恐れがある地区住民が、安心して生活できるようにするため、排水施設を整備する。 ・大雨時に土木管理課が土のうを運んだり、苦情の多い地区を記録する。 ・浸水の恐れがある原因を調査し、適正な対策を検討する。 ・優先順位を決め、計画年次に合わせ予算要望をし、工事を発注する。 平成19~24年度 霞ヶ丘町中外11カ所施工 平成25年度 南原山町南原山施工、柏井町弥栄施工 平成26年度 平子町長池上施工 平成27年度 南原山町赤土、平子町長池上施工 平成28年度 新居町今池下設計 平成29年度 北山町北山、南原山町赤土施工 平成30年度 新居町今池下施工 【平成25年度、基本事業成果指標の変更】道路冠水箇所数：19箇所(平成24年度末)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

浸水被害がなくなり、大雨時でも安心して生活できるようになっている

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	浸水対策実施箇所数	箇所	1	2	1	1
	道路冠水解消箇所数	箇所	0	0	1	1
成果指標	浸水対策が必要な道路冠水箇所の残数	箇所	14	14	13	13
事業費 計			1,404	37,947	6,500	6,245
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	1,404	37,947	6,500

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 浸水対策が必要な道路冠水箇所の残数は昨年度実績と比べ7.1%向上した。 (原因) H30は当初計画と通りに冠水箇所の対策事業を行い冠水箇所数を減らすことが出来た結果です。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

排水施設維持補修事業

[486]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	35-0103	実施計画	
施策	05	雨水対策・河川整備の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	排水施設の整備・維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市の管理する河川・水路等	市民からの通報及び日常パトロールにより発見された水路等の破損箇所に対し、適切な補修(工事)を行う。 ・材料を購入し、市作業員により補修する。 ・請負業者により補修する。 市民からの通報及び日常パトロールにより発見された水路等の流れが悪い箇所に対し、浚渫・除草を行う。 ・市作業員により浚渫する。 ・請負業者により浚渫する。 H20年度に産業課から所管がえを受けた山の田池の維持管理にかかる事業と水路維持補修事業を合わせ、H21年度から排水施設維持補修事業とした。 北山町の雨水排水能力不足の原因である、石原川的能力不足を解消するため、H28年度に基本設計、H29年度に詳細設計、H30年度から5箇年の河川改修工事を行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
河川・水路、あるいはその関連施設が適切に維持管理されている		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	維持補修を実施した総延長	m	2,126	1,967	2,500	2,545	
	維持補修を実施した件数	件	22	23	20	28	
成果指標	河川・水路に関する苦情要望数	件	18	24	20	13	
事業費 計			16,585	17,793	81,500	80,944	
財源内訳	ア 国	千円					
	イ 県			2,800	23,300	23,100	
	ウ 地方債						
	エ その他					40,000	50,000
	オ 一般			16,585	14,993	18,200	7,844

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 河川・水路に関する苦情要望数が昨年度実績と比べ45.8%向上しています。 (原因) 苦情要望数は相対的に増加している状況、対処が必要な箇所が年々増加しており、先行して対応するのが難しくなっています。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	北山地区の排水状況の改善に向け、石原川の改修工事を行います。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
平成30年度に準用河川石原川改修工事を着手しました。			

老朽側溝補修事業

[487]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	35-0104	実施計画	
施策	05	雨水対策・河川整備の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	排水施設の整備・維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市の管理する道路延長	側溝築造後、長期間経過している側溝のうち、目地切れや、沈下による勾配不良等の状態にある側溝を補修する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
悪臭発生の原因である生活雑排水が堆積しないように側溝の流れが良くなっている		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	側溝補修延長	m	128	126	350	89
	側溝補修工事件数	件	3	3	8	4
成果指標	側溝補修延長累計	m	4,735	4,861	5,435	4,950
	側溝破損に関する苦情要望数	件	116	95	30	77
事業費 計			4,989	4,999	5,000	4,951
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	4,989	4,999	5,000

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)側溝補修延長累計は昨年度実績と比べ1.8%上昇していますが、H30の計画値と比較すると、261m少ない結果となっています。 (原因)側溝補修費用(人件費、諸経費)の高騰により、補修延長が減少した結果です。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-